

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
白い玉が2つと黒い玉が4つでは28点、
白い玉が5つと黒い玉が4つでは52点になります。
このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	28点
○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ●	→	52点
これらのちがいを考えることで、		
	→	() 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 黒い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	28点
○ ○	→	() 点
これらのちがいを考えることで、		
	→	() 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が4つでは28点、
 白い玉が5つと黒い玉が4つでは52点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	28点
○ ○ ○ ○ ○ ● ● ● ●	→	52点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○ ○	→	(24) 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $24 \div 3 = 8$

8 点

③ 黒い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ● ● ●	→	28点
○ ○	→	(16) 点
これらのちがいを考えることで、		
● ● ● ●	→	(12) 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式) $12 \div 4 = 3$

3 点